

企画建設常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和2年9月4日(金) 第3委員会室
2. 出席委員 林高正委員長 桂藤和夫副委員長 門脇俊照 横路政之 堀井秀昭 政野太 岩山泰憲
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 俵啓介議会事務局議事調査係長
5. 説明員 なし
6. 委員外議員 なし
7. 傍聴者 なし
8. 会議に付した事件

- 1 陳情第10号 国道182号の一部改良整備について

午後1時25分 開 会

○林高正委員長 ただいまから企画建設常任委員会を開会いたします。

1 陳情第10号 国道182号の一部改良整備について

○林高正委員長 本日の協議事項は、陳情第10号、国道182号の一部改良整備についてということで、今、皆様の御手元に要望書が渡っていると思うのですが、御承知のように、これは東城町の福代自治会から出てきているのですが、どういったことかということで若干読ませていただきます。要旨として、国道182号の庄原市東城町福代地域のJR芸備線福代川第2鉄橋アンダー部分及び岩瀬戸山部分の迂回ルートの一部改良整備を1日も早い実現をしていただくようお願いをいただきたい。理由として、当地域を通る国道182号は、昭和40年に県道から国道に昇格され、以来、昭和47年から平成8年まで二車線化工事がなされ現在に至っておりますが、1番の難関とも言えるJR芸備線福代川第2鉄橋アンダー部分が未改良のまま放置されている状況にあります。ここでは、対向車同士の衝突事故、コンクリート橋脚への衝突による死亡事故、路側のガードレールを突き破り川に転落するなど、想像を絶する交通事故が多発してきました。また、東城市街地方面の岩瀬戸山部分は、道路改良がなされているものの急な岸壁が露出し、過去幾度も落石が発生し常時危険にさらされております。平成30年7月の豪雨でも岩石の流出があり、通行に支障が出ております。岡山県境より西へ約700メートル地点から東城町川東北交差点までの区間は歩道が未整備であり、歩行通学に危険を感じる児童生徒のほとんどが自家用車で通学しております。また、当地域には市営住宅があり住民の高齢化も進み、この区間に危険を感じながら通っての生活を余儀なくされています。この福代地域から東城市街地までの路線整備は、私たち地域住民にとりまして長年の大きな願いであり、日常生活に欠くことのできない重要かつ緊急な課題であります。安全で安心な通行ができる国道を早急に改良整備していただくようお願いをいたしますようお願い申し上げます。ということで、右にありますように自治会長、自治振興区の会長、庄原市東城交通安全協会会長、新見市交通安全協会哲西支部支部長、広島県トラック協会北備支部支部長、岡山県トラック協会備中支部備北分会分会長の連名、連署によって出され

ております。写真が添付されておりますので、写真を見ていただきたいのですが、先ほど言ったのが、右上の写真が全くそうで、知らずに下がっていけば当たるのです。冬場は路面凍結したりするから、とても子供が歩いて通学できるようなところではないということでございます。壁面もここに映っているところ以外に、ここの写真の下のところ壁面も見えていますけど、コンクリート吹きつけをしたりしているところがあるのですが、それも崩落したりして大変危険だということで、これを早期に解決していただきたいという要望でございます。令和3年度から広島県が道路改良についての新たな5カ年計画を立てるので、それに向けて、これを採択していただきたいというお話でございます。当然ながら県にも要望書は出されております。ですから、なるべく上位に持って行って早くしていただきたい。工法については、バイパスを通すとか、今のところを川側へ出してもう少し改良するとか、いろんな話が出ておりますけれど、その辺りの工法は我々はわからない話ですから、要は、至急に改良してくださいということを議会としても出していきたいということでございます。御理解いただいたでしょうか。横路委員。

○横路政之委員 委員会として、県へぜひとも採択するよという働かけをしていく、文書を出すとかいうことですか。

○林高正委員長 1番いいのは、我々が委員会として全会一致で要望してやろうという段取りにしてもらって、要望書を県に上げるという段取りになろうかなと思います。それでよろしいですか。

○堀井秀昭委員 特段の扱いをしようという提案ですか。庄原市内、危険な箇所はほかにもいっぱいある。委員会として、こういった要望書について、あんまり上に向けて下に向けての行動を起こしたことはない。特例の扱いをしようという理由は何か。

○林高正委員長 私もそこを何度も通っているし、地域住民の話もお聞きしましたけれど、今までそういったところを車が通っていたということ自体、信じられない。小鳥原のカーブとかいう類いではない。少し油断して行けばぶち当たる。その道は必要不可欠でほかのところを通れない。ここしかない。私も最初はどんなものかなと思って行ってみたのだけれど、これは本当に恐ろしいと思う。通学路でありながら子供も歩けない。

○堀井秀昭委員 県に対して早期改良していただくように庄原市議会として要望書をつくるということですか。

○林高正委員長 そうです。

○門脇俊照委員 これは議会委員会よりも市からも出さないと。一緒に足並みそろえて出さないと。

○林高正委員長 それを調整して行って、私がさせてもらうけれど、市が出すことも当然だろうけれど、特例的に議会として出したら、それはすぐく聞いてもらえると思う。

○政野太委員 ここにあります通り、通学路も本当に何十年来その地域の方の要望が出ているような状況なのです。要望書を出すということは、地元ですし、ぜひとも力添えをいただきたいとは思いますが、ただ、やはり先ほど堀井委員が言われるように何らかのルールというか、そこが何か決まっていたほうが、今後、いろんな要望に対する取り扱いにつながると思うのですけれども、いかがでしょうか。

○堀井秀昭委員 今から出てくる要望書を、全て議会をあげて要望書をつくって上にあげるということにはならない。これをやるのなら、今言われたような要件というものをある程度考えて、これは議会として要望書を上げるべきものに当てはまる。そういったものに適するとか、条件を定めておかない

と、そのときどきの委員会の委員の環境と感覚を持って扱いが変わってはいけない。これからの展開として、取り扱いに対する何らかの基本姿勢がいるのではないかと。

○林高正委員長　　そういうことも当然考えたのですけれど、令和3年で県の道路整備計画、5カ年計画が出るわけです。まず、当然それ入れてもらおう。入れるのは入れてもらえると思うのだけれど、その中で優先順位を上げてもらいたいのために、いわゆる政治的な動きをとりたいたいわけです。

○堀井秀昭委員　　県で優先順位を上げるためには、基本は庄原市が優先順位を上げたものを県へ出さないとはいけない。庄原市の改良計画の中に、ここの改良計画が既にあるのか。国道だからないでしょう。

○林高正委員長　　庄原にはないでしょう。何らかの考えをしないとはいけないけれど、これで我々がプッシュしてあげることによって整備が進むということは間違いないと思う。

○堀井秀昭委員　　そのことについて異議はない。ただ思うのは、庄原から比和を超えるトンネルを通るたびに恐ろしいトンネルだと思う。冬には凍結しているし。そこら辺とのところも、あれは通学路ではないが、今回は何を理由にするかと言えば、交通量が多いことや通学路であるようなことをお膳立ての中へ入れながら、要望書を上げるということを議会全体に諮るわけでしょう。

○横路政之委員　　ここで死亡事故があった。そういう最悪のこれ以上ないことが起きているということでも特別な理由。でも、それがなければ今回のようなことは今後しないという決め方もどうかと思うが。今回に限っては、やはり亡くなった人も現実におられるということがある。

○堀井秀昭委員　　この上の写真は東城側から見ているのか。新見側から見ているのか。

○横路政之委員　　新見から東城の町の中へ向いている。

○門脇俊照委員　　真ん中の橋脚に当たるのです。

○堀井秀昭委員　　下の写真は東城から新見。

○林高正委員長　　JRが絡んでいるし、河川もあるし、大変に難しいところではある。

○堀井秀昭委員　　私が言っているのは、こういった早期改良の要望をすることに反対だと言っているのではないが、今までしたことがないから。道路改良の要請など、過去幾つも委員会へ要望書が出ているけれど、今回やるのならそれなりものが必要ではないでしょうかと言っている。

○林高正委員長　　それなりのために、それなりの人が書いて、提出して来られた。今までは、福代自治会の人たちが何とかしてくれと言われていた。理由付けするとすれば、通学路とされながら通学できていない。死亡事故も発生している。そういう問題が多い地区であるというようなことが認められるようなことしかない。

○岩山泰憲委員　　非常に危険だということはよくわかりまして、住民の皆さんの願いも理解できます。先ほど堀井委員からもありましたように、庄原市内は広く他の地域にも危険なところはあると思いますので、私はこうして県の計画を改正する段階で入れるということは、大変重要なことで、微妙なところをこうしてお願いするような新たな方法だと思います。ここも扱いながら、また、よく周りにも目を配って、ここだけの取り組みで終わることのないように、議会として扱う方向で、今回、この件については、ぜひ委員会として要望していこうという方向でまとめていただければと思います。

○堀井秀昭委員　　この委員会だけでまとめるのなら、ここにいる者がよしと言えば済むのだが、議会全体で諮るということになると、なぜ特例的な扱いをするのかという質問があったときには、委員長としてそれなりに答弁をしないとはいけないから、何か要りますよと言っているのです。

○林高正委員長　　運送会社等も大変に困っておられるのです。そこを総合的に私が作文して、それでど

うしても本会議で全会一致にならなければ仕方ない話だけれど、でも議会として多数決して出してもいいと言われるのなら、出させてもらう方向でいいですか。

○門脇俊照委員　　庄原市がほとんど動かないのに、議会だけ出すということもおかしいから、同じように出さない。

○林高正委員長　　私が市と折衝します。両輪で出していかなければ、受けるほうがね。いろんなところを見たけど、ここは本当に危ない。

○堀井秀昭委員　　庄原市議会の企画建設常任委員会の基本方針として、こういう要望書が出た地域、岩山委員が言ったように要望書が出てないが、私らの目で見ると危険で早期改良が必要な地域、こういうようなところをピックアップしながら、常に国やら県に対して道路改良の要請をしようと、これからは。だから、そこら辺の理由付けが。

○林高正委員長　　できたら委員会として、現地確認してもらえたら、共有できるかなど。

○横路政之委員　　いろいろ出てくると思うのですよ、今から。トンネルを広くしてくれとか、危ないとか。そういうものが出てきた場合、現地を知るといことも議員の務めなので、これはどう見てもいけないと認識すれば、そういった方向にすればいいのではないかと。

○堀井秀昭委員　　言ってもどうにもならないからとみんな思われているから、現実には出てこないかもしれないが、議員の目で見ると必要と思える箇所というところをピックアップしながら、議員活動の中でどれを取り扱うような体制をこれからやっていくのだという体制論へ持ち込まないといけないのではないかと思う。

○林高正委員長　　事務局とも相談して現地確認を早急にやりましょう。そのようにさせていただきますので、よろしく願いいたします。ではこれで委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後1時45分　　閉　　会

庄原市議会委員会条例第30条の規定によりここに署名する。

企画建設常任委員会

委員長 林 高 正